

合格者インタビュー

※詳細はHPでご参照下さい

第24回 初級試験合格 第25回 中級試験合格

京都栄養医療専門学校
管理栄養士科 2年
新堀 桜子様

**食品表示検定は就活にメリット
1年で初級、2年には中級に合格**

私達の学校は栄養士や管理栄養士を目指すための専門学校です。私は4年間で管理栄養士の資格を取得する学科に所属し、卒業後は社会人として即戦力で活躍できるスキルを身につけるよう勉強に励んでいます。将来的には食品関係の会社への就職を希望しており、特に商品開発に興味があります。学校では、在学中に管理栄養士以外の資格にも挑戦するように薦められ、そのなかのひとつに食品表示検定がありました。担当の先生から「この資格をとっておくと就職に有利だよ」というアドバイスがあったのが受験の動機です。また、食品表示の知識はスーパーでの買い物の時など日常生活でも役にたつと思い、勉強することに決めました。

私は入学当初から2年生までに中級の資格をとろうと目標を決めていました。1年で中級のチャレンジも考えたのですが、十分な自信がなかったため初級からスタートしました。一回で合格したことで自信を深め、2年で中級を受験してこちらも合格しました。

学校では、授業で食品表示の概論を学び、試験に向けては担当の先生の解説資料やテキストをくまなく勉強、さらに学内の検定受験者を対象とした勉強会にも参加しました。担当の先生は、自らも食品表示検定を受けた経験をお持ちで、試験問題の要点をよくご存知でした。その結果、2年までに中級合格の目標が達成できたと思います。

私の合格を友達が見て、次は自分も受けてみようという機運が高まっています。テキストを見て「ここは管理栄養士の試験にも役立つそう」というのが友人たちの共通認識です。

今後は、上級へのステップを踏むことも考えていますが、管理栄養士の資格取得を一番の目標にしながら、その他の検定試験も視野に入れてスキルの幅を広げたいと思っています。

第16回 初級合格・第22回 中級合格

株式会社ジェイアール西日本フードサービスネット
列車事業本部 新幹線事業部 主任
毛利 礼和奈様

**元・新幹線車内販売パーサー
食品表示検定に挑む！**

私どもの会社は、西日本旅客鉄道（株）の100%子会社で、駅構内（いわゆる駅ナカ）の飲食店などの管理・運営する店舗事業と山陽新幹線の車内サービス（車内販売やグリーン車での接客サービスを提供する）新幹線事業の2つ事業があります。

私が食品表示検定試験を受験しようと思ったのは新幹線で車内販売パーサーをしていたころです。弊社の品質管理室から食品表示の検定試験の案内があり、最初は「食品表示ってなんだろう」という印象でしたが、車内販売の経験を積むに連れ食品表示の重要性を感じるようになりました。そこで初級にチャレンジしようと思い基礎をしっかりと勉強して試験に挑み、合格しました。そして、次は中級にチャレンジしました。

中級はさすがに難しかったです。試験範囲が幅広く、また内容も奥深いです。テキストを何度も読み返しました。ただ一人で勉強するモチベーションを維持するには苦労しました。そのため、社内の中級合格者の方に教えていただきました。また、品質管理室主催の社内セミナーにも参加しました。あとは、デバ地下やスーパーマーケットの食品売場も参考になりました。売り方がそれぞれ違うため、POPやプライスカードをじっくり見て研究しました。

現在の主な担当業務は、新幹線車内で販売する商品選定やイベント企画での票品選定などです。また、新幹線事業部の品質管理業務も兼務しています。神経を使うのはお取引先の商品選定ですね。先方から商品カルテをいただきチェックをするのですが、この時には、食品表示の知識が役に立ちます。

新幹線の車内販売は、スピーチセールスが特徴です。そのセリフを考えるのも私の仕事です。また地域共生として、地域の名産品、特産品の産地表示には注意しています。

第17回 中級合格・第10回 上級合格

原信ナルスオペレーションサービス株式会社
品質安全部品質安全室
渡辺 優姫様

**全社で取り組む「表示間違いゼロ」
お客様に分かりやすい表示を目指す**

原信ナルスオペレーションサービス（株）は、新潟を中心に店舗展開するスーパーマーケットの原信とナルスの本部機能を担うシェアードサービス会社です。私の所属する品質安全室では、店内で製造・加工する食品の表示作成やチェック等の業務を行っています。

私が食品表示の検定試験を受けたきっかけは、現在の部署に配属になり、食品表示知識の必要性を感じたからです。入社後店舗で水産部門に勤務したのち、現在の品質安全室に異動になりました。食品表示の業務を行うにあたり、上司から「この本がよくまとまっていて勉強になる」と手渡されたのが食品表示検定協会発行の「認定テキスト」でした。勉強を重ねていくうちに検定試験を受けようと思い、中級を受験し合格しました。

年々、開発商品が多様化し、関連部署から食品表示についての問い合わせが多くなったこともあり、より専門的な知識が必要と感じ上級を受験しました。

「上級試験は難しく、特に記述問題は難関」と聞いていたので、記述試験問題の特訓を行いました。特に日頃あまり接していない遺伝子組換え表示や機能性食品などを仮テーマとして実際に回答を書き込んで試験に臨みました。数回チャレンジし、合格することができました。

現在、弊社では「表示間違いゼロ」を目標としています。社員全員が正しい食品表示の知識を身に付けるために、社内推奨資格として年2回の食品表示検定試験を案内しています。また、食品を提供する側としてはもちろんのこと、購入する食品の表示を正しく読み、安全であるかどうかを理解した上で選択できるようになるため、いち消費者としても「食品表示」に関する知識は身に付ける必要があると思いました。全社で表示知識の向上を目指しながら、見る人に分かりやすい表示で安全安心な商品を提供していきたいです。

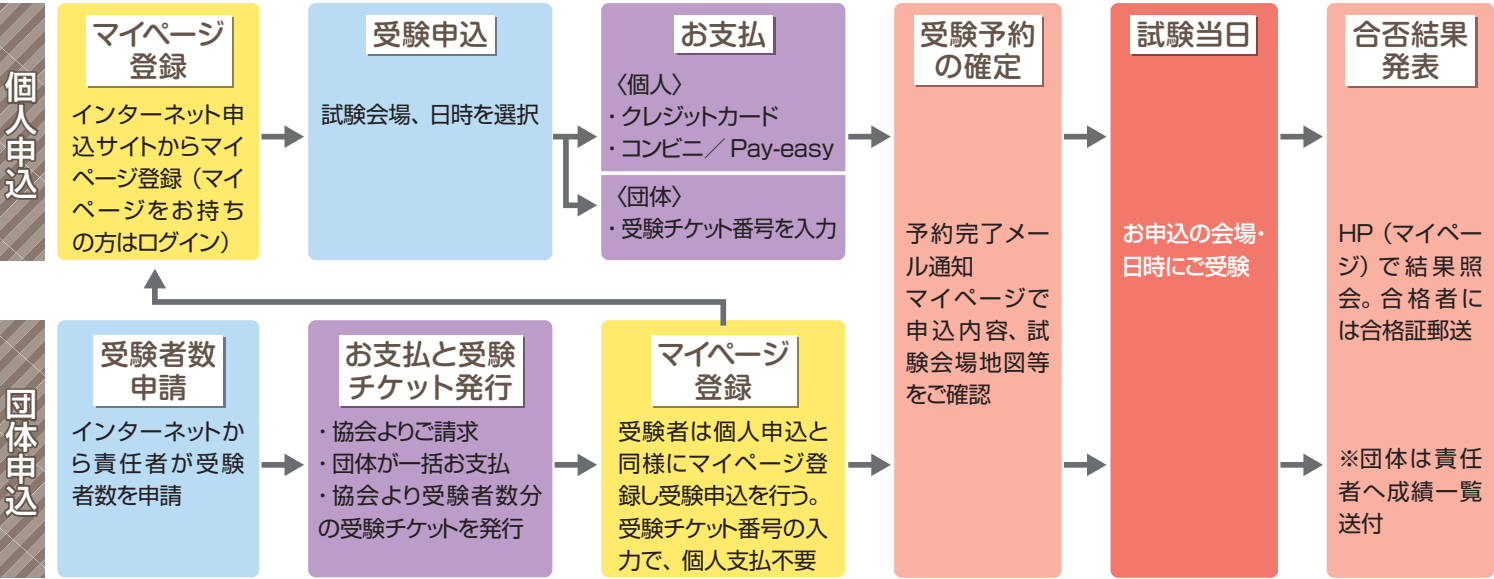
2023年 食品表示検定試験実施概要

「食品表示検定試験」は、初級、中級が前期と後期の年2回、上級が年1回開催されます。初級・中級は CBT方式で行われ、上級試験は全国一斉ペーパー試験」となります。**※実施概要は変更となる場合もあります。最新情報はHPでご確認ください。**

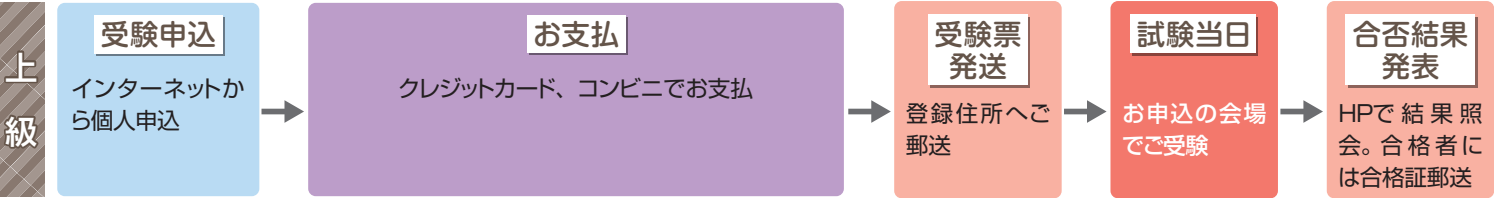
各 級	第27回 初級	第27回 中級	第13回 上級
試験日	6月1日(木)～6月21日(水)		6月16日(金)～7月9日(日)
試験時間	90分		前半・後半で計150分、途中休憩1回あり
試験方式	CBT		ペーパー試験(一斉)
試験地区(予定)	全国300カ所以上のテストセンター		札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
申込方法(個人)	インターネットからマイページ登録後、申込&お支払		インターネットから申込&お支払
申込方法(団体) ※各級単位で10名以上	【団体事前申請期間】3月20日(月)～4月5日(水) ①責任者が事前申請期間にインターネットから受験人数を申請&お支払 ②受験者がインターネットからマイページ登録&申込		団体申込なし
受験申込期間	4月6日(木)～5月17日(水)		8月下旬～10月上旬予定
受験料(税込)	5,280円	8,800円	22,000円
	団体割引あり(各級単位で20名以上の場合5%)		割引適用なし
受験資格	学歴、年齢、性別、国籍の制限なし		中級食品表示診断士(中級合格者)
出題範囲	「改訂7版食品表示検定認定テキスト・初級」 ※2022年1月発行。2023年度の試験は改訂7版に準拠して出題されます。	New 「改訂8版食品表示検定認定テキスト・中級」 ※2023年1月発行。2023年度の試験は改訂8版に準拠して出題されますのでご注意ください。	食品表示全般に対する試験で法令、ガイドライン、Q&A等から出題
出題形式	テストセンターのPCを使用した選択式		マークシート方式・記述式
合格基準	70点以上が合格(100点満点)		80点以上が合格(100点満点)

お申込から合否結果発表までの流れ

〈初級・中級〉CBT方式



〈上級〉単一日開催のペーパー試験



各級のご紹介

初級	こんな方に オススメ あります	- 食品業界に携わり「食品表示」の基礎を知りたい方 - 食品業界、食品小売業に就職を希望される方 - 食品表示に興味があり、商品選択に役立てたい消費者の方
中級	こんな方に オススメ あります	- 食品業界に欠かせない「表示」の基礎が学べる - 食品表示の基礎を理解し、「安全・安心」な商品選択に活かせる - 食品業界の商品開発のご担当者、食品販売責任者 - 食品工場、食品仕入れ部門などのご担当者 - 品質管理、品質保証のご担当者 - 食品表示の専門知識を業務に活かせる - 仕入れや販売業務で顧客からの質問や疑問に答えられる
上級	こんな方に オススメ あります	- 品質保証などの責任者、実務者 - 食品表示が正確かどうか検証する部門の責任者、実務者 - 食品表示の相談を受ける方(公的機関、コンサルタント) - 食品表示のエキスパートとして活躍できる - 食品表示を作成・指導できる

※初級からでも中級からでもご自由に受けたい級を選んでもいただけます。同一回での初級、中級併願受験も可能です。
※上級は中級合格者であることが受験条件です。

各級のデータ

〈受験者の業種別比率〉

